

2020年度 事業計画

I 施設の設置・運営事業《公益目的事業(WAC事業)、その他事業1・2》

- 公益目的事業：WAC法に基づく施設(疾病予防運動センター・高齢者総合福祉センター・在宅介護サービスセンター・有料老人ホーム)の設置および運営
- その他事業1：疾病予防運動センターのうち60歳未満の利用者(全利用者の3割相当)に該当する部分
- その他事業2：介護老人保健施設・訪問看護ステーション・ケアプランセンター(奈良事業のみ)

*WAC(ウェルディングコミュニティ)事業:

1989年に厚生省(現厚生労働省)が「ふるさと21健康長寿のまちづくり事業」としてスタートさせた施策で、地域で暮らす高齢者が健康で安心し、生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざして、地域全体に社会福祉サービスを提供するために、健康・福祉施設を総合的に整備する事業

(1) 奈良事業 (厚生労働省WAC認定事業：1990年10月17日付)

① 疾病予防運動センター (WAC第1号施設) 【ニッセイ・アーク西大和】

○地域社会との連携・交流

- ・地域会員数増加に向け、外部への案内チラシのポスティングに加えてホームページの内容訴求の強化及び地域情報誌への掲載を検討し、また会員同伴ビジターや紹介キャンペーンを引き続き実施します。レッスンも四半期毎に見直しを継続実施し、ジムプログラムの増設で会員との距離を縮めていきます。
- ・クラブ運営は引き続き会員の声の集約や修繕の即時対応を実施し、顧客満足度の向上を図ります。

② 診療所 (WAC第1号施設付置診療所) 【ニッセイ聖隷クリニック】

○地域社会との連携・交流

- ・奈良ニッセイエデンの園内における有料老人ホームの協力医療機関として、その人らしさを最期まで支える医療、看護を推進していきます。
- ・高齢化する河合町住民のための送迎サービスを行い、集患対策及び介護保険扱のサービスとして短時間通所リハビリを開始します。
- ・外来では高齢者の皮膚病患者増による皮膚科を標榜し、診療を開始します。また、健診の各種キャンペーンを継続して行います。

③ 高齢者総合福祉センター (WAC第2号施設) 【ふれあいプラザ】

○地域社会との連携・交流

- ・新規企画は行わず、継続企画の内容の充実を図るとともに、変化する受講・参加者のニーズ・動向の把握分析に努め、今後の事業展開に繋がります。
- ・諸団体との協力関係を育み、ふれあいプラザとして広く啓蒙・発展させたい芸術分野の講座を充実させ、継続できるように取り組んでいきます。
- ・音楽イベントはクラシックを主としていますが、他のジャンルや地域の演奏家の出演などでバリエーションを拡大し、より多くの方にお楽しみいただけるイベント運営に努めます。

④ 在宅介護サービスセンター (WAC第3号施設) 【ニッセイせいらい在宅介護サービスセンター 西大和店】

○地域社会との連携・交流

- ・地域、行政の主催する地域包括ケア会議や河合町ヘルパー連絡会などの各種会議へ継続して参加し、地域連携に努めます。その中で他事業所のケアマネジャーとの交流を深め、利用者獲得に繋がります。
- ・障がい福祉サービスは、問い合わせ時点でケア提供可能なケースから新規受入を行います。

⑤ 有料老人ホーム (WAC第4号施設) 【奈良ニッセイエデンの園】

○地域社会との連携・交流

- ・「地域連携グループ」を中心にした活動を継続し、年1回開催の介護の日「ふれあいフェスタ」「認知症啓発イベント:RUN伴」やフリーマーケットなど、地域住民との交流を更に深めていきます。また、地域支援事業への講師派遣など、地域貢献を継続して推進します。
- ・地域との災害時における協力体制を強化していきます。また、防災活動にも積極的に参画します。
- ・地域住民及び入居者、利用者を対象に「介護教室」を引き続き開催し、高齢者介護についての技術、知識を学びながら、それぞれが抱える不安や困り事を解消できるように取り組んでいきます。
- ・「エデン版地域包括ケアシステム」の継続と地域との世代間交流やボランティア等の活動も強化していきます。
- 認知症になっても安心して生活できる「高齢者と認知症にやさしいエデンづくり」を更に深めるために、認知症ケア(パーソン・センタード・ケア)と認知症理解への教育を継続します。
- 大食堂をエデン食堂として身近に感じていただくための企画や運営を行い、サービスの充実を図りながら食事満足度と喫食数向上に努めます。
- 働き方改革への取り組みや障がい者雇用の促進、また多様な働き方に対応した労働環境の整備など、社会的責任への取り組みの充実を図ります。
- 新型コロナウイルス等の感染症予防、防災、防犯対策の徹底とコンプライアンスを意識した運営を図ります。
- 入居者サービス充実のため、接遇意識の向上は勿論、気づきや行動力のある職員の育成に注力します。
- 業務基幹システムである新ETS(エデン・トータル・システム)の更新による業務の効率化をケアの充実へとつなげ、より安全で安定したサービス提供を目指していきます。
- 開園30周年に向けては、段階的な大規模植栽整備を継続し、記念プロジェクトにより入居者に喜んでいただけるような行事等の企画、立案を進めます。

⑥ 介護老人保健施設 (WAC併設施設) 【奈良ベテルホーム】

○地域社会との連携・交流

- ・在宅強化型介護老人保健施設として、在宅復帰を希望される方への個別サービスの提供と在宅復帰後の居宅支援サービスを実施します。また、利用者の望む姿に近づけるよう生活リハビリを実施し、機能向上、自立支援を計画的に行います。
- ・「家族介護教室」(地域の方対象)や「小学生向け介護教室」の開催を積極的に行い、地域住民に高齢者福祉の理解を深める働きかけを継続して実施します。
- 渉外活動を継続し、利用者を積極的に受け入れ、安定した経営に努めます。
- 職員一人ひとりが当施設で働いている自覚を持ち、専門性の追求に加えて職員同士が協力し合い、現在行っているサービスの質の向上に努めます。

⑦訪問看護ステーション（WAC併設施設） 【訪問看護ステーション西大和】

○地域社会との連携・交流

- ・近隣事業所や医療機関との連携をさらに深め、新規利用者獲得による収益増に加え、ICT導入による業務効率化とサービスの質向上を行い、事業安定を目指します。

⑧ケアプランセンター（WAC併設施設） 【ニッセイいれいアップセンター西大和】

○地域社会との連携・交流

- ・地域行政や他事業所との連携をさらに強化し、地域包括ケアシステムの構築を図ります。また、ケアマネジメントの質の向上を目指し、信頼され選ばれる事業所になるよう運営していきます。

(2)松戸事業 (厚生労働省WAC認定事業：1994年12月15日付)

①疾病予防運動センター（WAC第1号施設） 【ニッセイセントラルフィットネスクラブ松戸】

○地域社会との連携・交流

- ・「毎月のプチイベント」を開催し、普段参加しない方へのアプローチや利用者との距離を縮めていきます。
- ・地域イベントへの参加などにより、地域での認知度アップに向けた活動を継続するとともに、地域会員数の拡大を図ります。

②診療所（WAC第1号施設設置診療所） 【松戸ニッセイ聖隷クリニック】

○地域社会との連携・交流

- ・各課との連携を強化し、各職種の特性を活かしたチーム医療を実践して入居者、利用者、患者へ安心と信頼を提供します。
- ・外部患者受け入れの拡大のために、予防接種枠を設立し地域への貢献、地域医療連携の充実に努めます。

③高齢者総合福祉センター（WAC第2号施設） 【ニッセイ松戸アカデミー】

○地域社会との連携・交流

- ・これまで蓄積してきたノウハウを地域にお住まいの方にも還元できるよう、介護予防に重点を置いた企画の展開を継続していきます。
- ・近隣にお住まいの方が参加できる季節のイベントや各種教室、大ホール・エントランスロビーでのコンサートを開催していきます。
- ・イベントに合わせて地域の障がい者施設や福祉施設の出張販売場所として積極的に活用してもらうことにより、地域支援・交流に貢献します。

④在宅介護サービスセンター（WAC第3号施設） 【ニッセイエデンヘルパーステーション】

○地域社会との連携・交流

- ・多様化する介護内容の需要に対応できるよう、介護支援専門員との連携を密にし、サービス体制強化に取り組みます。
- ・近隣自治会等が主催する意見交換会やサービス提供事業所向け説明会・専門研修等に積極的に参加し、交流・情報収集・スキルアップに努めます。

⑤有料老人ホーム（WAC第4号施設） 【松戸ニッセイエデンの園】

○地域社会との連携・交流

- ・松戸市および松戸市立福祉医療センター東松戸病院等との連携、情報共有を密にし、今後の地域連携の一翼を担う施設として「松戸市しあわせの村構想の次なるステップを具体化する」を実行していきます。
 - ・松戸市指定の災害時の一時避難所として、近隣施設との連携を深めるだけでなく、ご入居者、職員の命を守るための防災活動を推進します。
 - ・松戸ニッセイエデンの園に関わるすべての人々が共有し遂行する目標として定めた「松戸ビジョン」の具現化を図り、すべての入居者にとって「我が家」となる施設の実現を目指します。
- コンプライアンスの徹底や、障がい者雇用を継続し、社会的責任への取り組みの充実に努めます。
- 新型コロナウイルス等の感染症予防対策、防犯対策の徹底を図ります。
- 入居検討時から最期までその人らしいライフスタイルを尊重したシームレスなサービス体制を提供します。
- 2018年度の容積率基準の緩和により敷地内増築が可能となったため、介護居室の増築プロジェクト(37戸→43戸の6戸増)を進め、2021年度中の竣工を目指します。
- ご入居者によるエデン内ボランティア活動(エデンサポーター)を推進し、一般居室と介護居室のご入居者同士の交流機会増加と生きがい増進を目指します。
- 入居者の協働・参画を得ながら、園全体で環境・省エネ活動を推進します。

Ⅱ 調査研究事業《公益目的事業》

(1) WAC事業の展開の中で、高齢期の「健康」「生きがい」「安心」「住まい」の4分野(以下「4分野」という)に関するノウハウ・スキルの研究と成果の情報提供

- WAC事業に関連して、高齢期の生活向上に関するテーマで調査研究を実施します。
- ・松戸の「あんしん電話」活動を支える「一般社団法人あんしん地域見守りネット」が、持続可能な法人として成長していくプロセスを追いながら、その成長過程に必要な要素を明らかにし、具体的なアクションによって生み出される効果について検証してまいります。
 - ・更に、地域課題の解決をビジネスの手法で目指すソーシャルビジネスの可能性も検討してまいります。
 - ・昨年度よりセントラルスポーツと河合町の協力を得て行っている「歩行能力向上」をテーマとする調査研究を継続して、介護予防の普及に貢献する集団プログラムの開発に協力するとともに、河合町などの地域活動に提供できるプログラムの開発にも努めます。
- 奈良施設・松戸施設の各職場内で4分野を題材にした調査研究並びに発表会(福祉学会)を開催し、その研究成果について関係諸機関等への情報提供に努めます。
- ＜社会福祉法人聖隷福祉事業団との共同研究＞

(2)地域住民等への4分野に関する情報提供活動の実施

- 有料老人ホーム等の高齢者施設の情報提供の一環として、4分野に関わるテーマによるイベントやセミナーを開催するとともに、高齢者の理解と援助を推進する外部イベントへの参加を行います。
- 11月の「介護の日」では、奈良・松戸両施設内にて介護イベントを開催し、地域高齢者およびその家族に向けた介護・医療・福祉の知識向上への取組みを継続します。

Ⅲ 奨学金助成事業《公益目的事業》

- 介護福祉士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士という介護事業を担う人材の育成を支援する観点から、介護福祉士等を目指す学生に奨学金を支給します。

- 介護福祉士のさらなる育成を目的として、介護福祉士を目指す外国人留学生を対象とした助成の拡充を検討し、2020年度に取組みを開始する予定です。